



カラオケ大会

9月12日の午後、毎年恒例の「カラオケ大会」が開催されました。各病棟から参加した七名がこの日のために練習してきた歌や持ち歌を熱唱しました。各病棟の工夫をした応援合戦や飛び入りの参加者もあり、大いに盛り上がりました。また、外来作業療法利用者の方も応援されていました。各賞の受賞者には、賞状が贈られ、盛会の内に閉会しました。



こころの健康展

10月7日(土)に青森公立大学の学園祭と同時開催しました。会場には、作品展示、健康チェックコーナー、作業療法無料体験コーナーなどがありました。作品展示コーナーには、当院の作業療法で作った作品も出展し、多くの来場者に見てもらいました。



手洗いについて

感染対策担当看護師 越後谷 光

インフルエンザや感染性胃腸炎(ノロウイルス)など、これから流行のシーズンになります。インフルエンザは予防接種を受けたからといって必ず予防できるわけではないですし、ノロウイルスに対する予防接種はまだ確立されていません。

予防対策としてマスクの着用なども必要ではありませんが、感染症を予防する為にもっとも簡単な方法は「手を洗うこと」とも言われています。

くしゃみや咳を抑えた時などに手に付着した細菌やウイルスなどの病原微生物が、ドアノブ・手すり・エレベーターのボタンなど、不特定多数の人が触れる部分に付着します。それらの部分に触った手で鼻や目や口を触ったり食事をしたりする事により、病原微生物が体内に侵入し罹患するケースが多いとされています。

その為、見た目に手が汚れていなくても、手には病原微生物が付着している可能性がある事を意識し、石けんと流水で手を洗う事が感染予防に重要と言えます。

これから開催される 家族教室の予定

第4回

平成29年11月24日(金)

午後1時15分～

講義

「親亡きあとを見すえた終活について」グループワーク

第5回

平成30年3月2日(金)

午後1時15分～

家族体験談・交流会を予定しています

◆ 当院に通院・入院している患者さん(認知症以外)のご家族は、どなたでも参加できます。

◆ 事前の申込みは不要で、参加は無料です。で、ぜひお気軽にご参加ください。

◆ 初めての方も、大歓迎です!

※詳細につきましては、主治医又は看護師にお尋ねください。

手を洗う時には、指輪や腕時計などは外し、石けんを十分に泡立てて30秒間は手をもみ洗うことが理想的です。(ハッピーバースデーの歌を2回歌ったり、ぞうさんの歌を2番まで歌ったりすると、大体30秒程度となるようです。)

親指・指の先・指の間・爪の間・手の甲・手首や、利き手でない手に比べて利き手は洗い残しが多いと言われており、それらの部分を意識して手洗いすると良いと思います。

それから流水を使って泡を洗い流します。

手を拭く際に、家族間でタオルを共用している家庭もあるかと思いますが、家族間での伝播を予防する為にも、タオルは個人別にするか使い捨てのペーパータオルを準備する事をお勧めします。



看護学生の臨地実習

つくしが丘病院では青森市内の看護大学や看護専門学校をはじめ、仙台や東京からも看護学生の臨地実習を受け入れていきます。その数は年間で約140名になります。看護を目指す学生が、学内で学んだ知識・技術・態度を統合して、様々な健康段階にある患者さんと関わりながら、現場で活かせる看護実践の能力を養うために臨地実習があります。

当院には、テレビで見えるようなドクターヘリや救命センターなどの最新の医療機器や医療処置はありませんが、患者さんと対話したり寄り添ったりしながら自立を支援し、退院してから地域での生活を継続できるように必要な看護が行われています。学生は教科書通りにはできない場面を経験することもあり、患者さんの状況に臨機応変に対応する看護師の姿を見て、専門職業人としての自己の目標を確立する機会でもあります。

看護部には、効果的な臨地実習が行えるように、指導者の資質向上を図るための実習指導委員会があり、加えて「青森県保健師助産師看護師実習指導者講習会」を修了した実習指導者が10数名います。将来の医療を担う人材を大切に育てるために、指導スタッフが実習環境の整

備に努めていますので、患者さんやご家族の皆様にはご不便をおかけすることもありますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



精神保健福祉援助実習

院内で「白衣を着ていない」実習生を見かけたこと、ありませんか？それはもしかしたら精神保健福祉士を目指している実習生かもしれません。

精神保健福祉士の受験資格を得るためには、医療機関・地域援助事業所（作業所・入所施設等）・行政機関（市役所・保健所等）にて実習を行うことが定められています。つくしが丘病院には実習指導者が4名おり、平成26年より実習指導を行っています。青森県内だけでなく、県外の実習生も受け入れ可能です。

講義もありますが、患者様と接する機会を多くもってもらうような実習内容を設定しています。例えば、精神科医療の特徴である多職種連携について理解してもらうため、カンファレンスの同席や訪問看護の同行などに取組んでもらっています。患者様やご家族には実習生の面談や同席を了承していただくことがあり、実習指導へのご理解大変ありがとうございます。未だの支援者を育てていくため、今後ともご協力よろしく申し上げます。

【これまでの実績】

平成26年	1人
平成27年	3人
平成28年	3人
平成29年	7人



シヨートケアで育てた野菜をおいしくいただきました

シヨートケア担当作業療法士 佐々木 美香

コロッケがおすすりメニューのCafeシヨートケア開店

今年、シヨートケアで畑を始めた。トマト、いんげん、なす、キュウリ、いちごを植えました。

火曜日メンバが愛情たっぷり育てたら、たくさん収穫できました！

ある方のご厚意で、余ったスペースにジャガイモを植えていただいたところ…。なんと、段ボール2箱の量が収穫できました！



開店数日前にお客さんも呼ぼう！という急な告知にもかわらぬ医療連携室、運営室、OTのスタッフが、皆さんがくれました！（病棟にはお知らせができませんでしたが…）

初めての企画でしたが、とてもおもしろく楽しいひとときが過ぎました。



セキレイ

院長 堀内 雅之

日本で見かけるセキレイ属の鳥は、主にセグロセキレイ、ハクセキレイ、キセキレイです。セグロセキレイとハクセキレイはよく似ていて、両者の区別がつかない個体もあります。水辺に住む縄張り意識の強い鳥で、近づく人や車などを警戒して先導するように飛び、長い尾を上下に振りながら歩くので「こっさく目立ちます」。日本書紀ではイザナギとイザナミに子作りの方法を教えたとき、神式の婚礼ではセキレイ台というものが用意されるほど昔から日本にいた鳥です。

当院は湿地に囲まれていて、昔から住んでいたと思われるハクセキレイの子孫を今もよく見かけます。以前は病院裏の湿地や旧病棟周囲の芝部分を縄張りしていたのですが、最近では「先住者は私だよ。」と駐車場をピコピコ歩いている姿を見かけます。

